

Second Intercollegiate Negotiation Competition

Newsletter Vol.2, No.5(2003)

いよいよコンペティションが今週末に迫ってきました。

全ての大学から予定通りラウンド A の準備書面を頂戴しました。対戦相手及び自チームの準備書面を本日中に各チームに送信します。

ラウンド A の準備書面の作成でお疲れだと思いますが、体には気をつけてください。

本日、各大学にパンフレットを送付しました。会場図やお知らせ、スケジュール、参加者名簿等が記載されています。大会当日にもご持参ください。

1. 29 日のこと

29 日は 12 時より開会式を L-911 号室で行います。

各大学の参加者の皆さんは、11 時 40 分までに各大学の控室にお集まりください。控室の場所はパンフレットに記載されていますし、会場で上智大学の学生に聞いて頂いても結構です。

そこで、名札をお渡しした後、荷物置場に荷物を置いていただいて、会場に向かって頂きます。荷物置場はラウンド中施錠したままですので、ラウンドに必要なものや貴重品は荷物置場に置かないようにしてください。

28 日宿泊されている方も、遅れないようにお越しく下さい。

2. ラウンド B 事前メモ

ラウンド B の事前メモ提出期限は 11 月 28 日午前 9 時です。遅れないようお願いします

3. 質問への回答

以下のような質問を頂戴したので、回答します。よく読んでください。

Q:ラウンド A の冒頭陳述の時間について、問題では 15 分となっており、規則では 10 分となっているのですが、どちらが正しいのですか？

→規則の 10 分が正確です。

Q:既に第一回目の会談が行われたこととなっていますが、その場ではイエロー社の資産、従業員、研究成果等に関してレッド社とブルー社が保有している情報をすりあわせるようなミーティングは行われたのでしょうか。

→行われていません。イエロー社の資産、従業員、研究成果等に関して、レッド社が有する情報とブルー社が有する情報は異なる可能性があります。イエロー社にはレッド社、ブルー社から各々職員が派遣されていましたが、各職員がどれくらいの情報を入手していたか、そうした情報をどのように評価していたか、また、どのような情報を本社に伝えるべきであると考えていたかどうかについて

の判断基準も異なります。正確に伝えているかもわかりません(実際の世界でもそうです)。従って、資産、従業員、研究成果等に関し、ある情報をレッド社側の職員とブルー社側の職員の双方が持っていたとしても、その情報が、交渉に臨んでいるレッド社側、ブルー社側の代表によって共有されている保証はありませんし、同じ内容で伝わっている保証もありません。

Q: 秘密情報に記載されている情報は自社のみが持っている情報であると考えてよいのでしょうか？

→ 結構です。

Q: ネゴランド国とアービトリア国間の WTO の紛争はどのような状況なのですか？

→ 今も継続中です。あと数年はかかるかもしれません。

Q: 合意書はワープロで作成する必要があるのでしょうか？

→ 参加者が自由にアクセスできるプリンターはありませんので、手書きで結構です。ワープロで作成したものを印刷したい場合には、上智大学の教員の研究室のプリンター等で印刷することも可能ですが、参加者が自由にプリンターにアクセスできるわけではありません。プリントを希望する場合には、各審査員にその旨を希望し、ファイル名を特定したうえで、フロッピー・ディスクを審査員に手交してください。係の者が印刷のうえ、文書をお渡します。

Q: 両親や友人が見学に来たいといっているのですが、何か事前の手続は必要ですか？

→ 不要です。前回のニュースレターでご連絡したように、当日受付で手続をし、ゲストのバッチとパンフレットを受け取って、自由にご観覧ください。折角の機会ですから、皆様のご活躍を見ていただくのもよいかと思えます。

以 上

編集・発行 インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション
運営委員会 (NEGOCOMC) negocom@osipp.osaka-u.ac.jp
ホームページ: <http://www2.osipp.osaka-u.ac.jp/~nomura/project/inter/index.html>